

ReSound



# リサウンド・クリップ

## ポケット型補聴器 CP

製造販売元

ジーエヌリサウンドジャパン株式会社

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-3  
MMパークビル8F



0120-921-310 (TEL)

0120-636-392 (FAX)

取扱説明書

- CP2BW-V
- CP2BW-PV
- CP3BW-PVI

## はじめに

### 管理医療機器

一般的名称: ポケット型補聴器

販売名 : ポケット型補聴器 CP

この度は「ポケット型補聴器 CP」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書では、当補聴器の操作手順、機能、故障時の原因と対策などについて説明しています。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

## 安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「損害を負う可能性または物的損傷が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し説明しています。



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

重傷：失明・ケガ・火傷・骨折・中毒など、後遺症が残ったり治療のための入院や長期の通院を必要とするものを示します。

軽傷：重傷に該当しないケガ・火傷などを示します。

物的損傷：家屋・家財ならびに人身以外の家畜やペットに関わる拡大損害を示します。

使用者：本機器の使用者を想定しています。ただし、使用者は購入者だけでなく、その家族・友人などの第三者・購入者から製品を譲渡された者なども含まれます。

# 目次

<b>1</b>	<b>お使いになる前に（使用上の注意）</b> .....	<b>1</b>	<b>7</b>	<b>プリセット調整器類(トリマーについて)</b> .....	<b>24</b>
<b>2</b>	<b>製品概要</b> .....	<b>7</b>	<b>8</b>	<b>イヤモールド(オプション)について</b> .....	<b>28</b>
	2-1.付属品の確認 .....	7	<b>9</b>	<b>その他の機能</b> .....	<b>29</b>
	2-2.各部の名称と役割 .....	9		9-1.テレコイルについて .....	29
<b>3</b>	<b>電池使用上の注意</b> .....	<b>11</b>		9-2.ループシステムを使う場合 .....	30
<b>4</b>	<b>電池の交換方法</b> .....	<b>13</b>		9-3.外部入力について(CP3BW-PVI用オプション)	31
<b>5</b>	<b>基本的な使い方</b> .....	<b>15</b>		9-4.電話で補聴器を使う場合 .....	33
	5-1.イヤホンコードと耳せんの接続 .....	15	<b>10</b>	<b>日頃のお手入れ</b> .....	<b>34</b>
	5-2.ストラップのつけ方 .....	17	<b>11</b>	<b>故障かな?と思ったら</b> .....	<b>37</b>
	5-3.補聴器の装着 .....	18	<b>12</b>	<b>アフターサービスについて</b> .....	<b>41</b>
	5-4.電源の入/切 .....	20	<b>13</b>	<b>性能表</b> .....	<b>43</b>
<b>6</b>	<b>装用者が取り扱う調整器類</b> .....	<b>21</b>	<b>14</b>	<b>音響諸特性</b> .....	<b>44</b>
	6-1.ボリューム調整 .....	21			
	6-2.プログラム選択ボタン .....	22			

## 1 お使いになる前に (使用上の注意)

補聴器はきこえを助ける医療機器です。ここに示した警告や注意事項は、補聴器を正しく使っていただき、装用者や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。以下は安全に関する重要な項目ですので必ず守ってください。

### ⚠ 警告

- **お子様が触れないようご注意ください。**  
飲み込むと窒息の危険を伴う小さなパーツを含んでいるので、幼児の手に触れさせないようお願いします。

### ⚠ 注意

- **衝撃・熱を避けてください。**  
補聴器に強い衝撃をあたえたり、落としたりしないでください。また、直射日光の強いところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの上面など、高温となる場所での使用・放置はしないでください。
- **補聴器はいつも清潔にしておいてください。**  
就寝時には必ず補聴器を外してお手入れをしてください。
- **適切な音量でご使用ください。**  
必要以上に大きな音を長時間聴取すると、聴力低下を招く場合があります。

- **補聴器はお使いになる方のきこえ具合に合うように調整する必要があります。**

この補聴器は、販売店でお使いになる方のきこえ具合に合わせて調整してもらってから装用してください。

- **補聴器を装用しても良く聞き取れない音もあります。**

小さすぎる音、遠くの音や周囲の雑音が大きい環境下での音声は十分に聞き取れないこともあります。このような場合は音源に近づくか、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

- **ハウリング(ピーピー音)にご注意ください。**

耳あなに耳せんがきちんと収まっていない場合や、抜けかけて隙間ができた場合などは特にハウリングが起こりやすく、装用者に不快感をあたえるばかりでなく、周囲の人にも迷惑をかけることとなります。ご自分でハウリング音を確認できない場合は、ご家族など周囲の人にもきいてもらい、耳せんを正しく入れ直してください。

- **補聴器を装用して炎症が生じたら…**

この補聴器の皮膚に接する部分には、かぶれや炎症などを起こしにくい材料を使用していますが、装用者の体質によっては、まれにかぶれや湿疹などを生じることがあります。このようなときは、ただちに補聴器の装用を中止し、医師へご相談ください。

- **低周波治療器・電磁(IH)調理器などによって補聴器に雑音が発生することがあります。**

- **ご不要になった補聴器及びその付属品は、お住まいの市町村の指示に従って廃棄してください。**

## ⊘ 禁止

- **補聴器を水に濡らさないでください。**  
補聴器を装用したまま泳いだり、お風呂に入ったり、洗顔しないでください。
- **補聴器を分解したり、ご自分で修理・改造等を絶対にしないでください。**
- **補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを絶対に使わないでください。**
- **補聴器を他人に貸さないでください。**  
補聴器は本人以外絶対ご使用にならないでください。他の人がこの補聴器を装用しても音量や音質が合わずきこえにくいばかりでなく、耳を痛める場合があります。

- **病院内の検査機器にご注意ください。**  
MRIやCTスキャナーなどの検査は補聴器に損傷をあたえる可能性がありますので、同種の検査中は補聴器の装用をおやめください。

## 2 製品概要

### 2-1. 付属品の確認

この補聴器には、補聴器を保管したり持ち歩いたりするための携帯用ケースの他に、次の付属品が付属されています。ご購入時にお確かめください。

(□にチェックをして、確認されることをおすすめします。)

① □電池(単4乾電池) 【2個】



② □耳せん

CP2BW-V/PVの場合 【1個】

CP3BW-PVIの場合 【2個】



③ □ジョイント

CP2BW-V/PVの場合 【1個】

CP3BW-PVIの場合 【2個】



④ □イヤホン

CP2BW-Vの場合(D16R85) 【1個】

CP2BW-PVの場合(D20R14) 【1個】

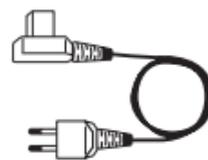
CP3BW-PVIの場合(D20R14) 【2個】



⑤ □イヤホンコード 【1本】

CP2BW-V/PVの場合(片耳・90cm)

CP3BW-PVIの場合(両耳・90cm)



⑥ □ストラップ

オプション

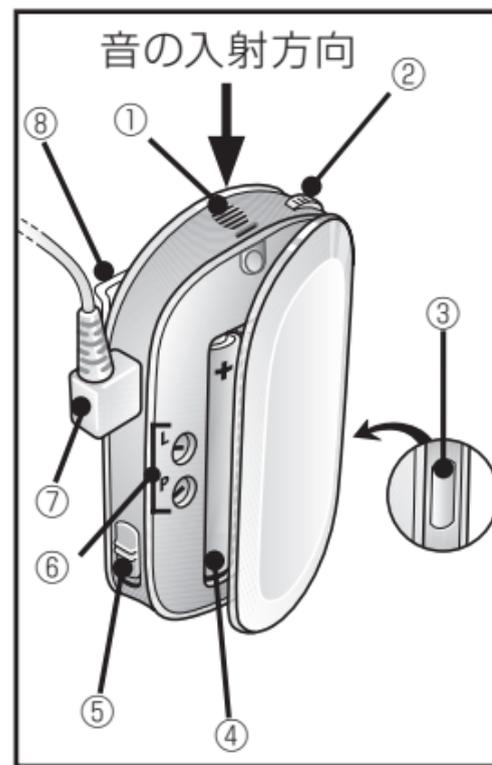
⑦ □イヤモールド



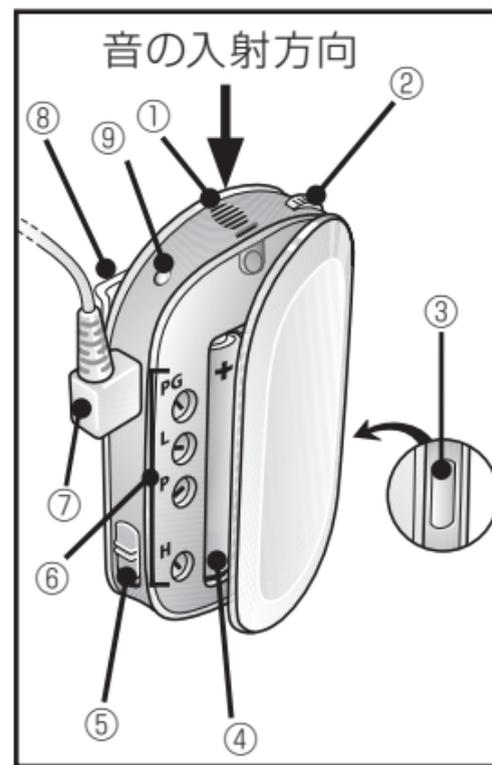
## 2-2.各部の名称と役割

- ①音の入口 : 音声をひろうためのマイクです。
- ②ボリュームコントロール : 音量の調整を行います。
- ③プログラム選択ボタン : プログラムを切替える(選択する)際に使用します。
- ④電池ケース : 電池を収納します。
- ⑤電源スイッチ : 電源の「オン・オフ」を行います。
- ⑥トリマー : 調整器です。  
※お買い求めの販売店で調整してもらってください。絶対にご自分で調整しないでください。
- ⑦イヤホンコード
- ⑧クリップ
- ⑨お知らせランプ : ランプの点灯により電源のオン・オフを確認できます。

### ● CP2BW-V、 CP2BW-PVの場合



### ● CP3BW-PVIの場合



### 3 電池使用上の注意

---

#### ⚠ 警告

- ショートさせたり、ネックレスなどの金属製のものと一緒に携帯・保管しないでください。
- 電池は乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池内部の液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、ただちに医師へご相談ください。

#### ⚠ 注意

- +、-を逆向きに入れないでください。
- 必ず指定されたタイプの電池を使用してください。
- 付属の電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ破損の恐れがあります。
- 補聴器を長時間使わないときは、電池を本体から外してください。使い切った電池を補聴器に入れたままにすると、液漏れする可能性があり、故障の原因になります。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。
- 使用済みの電池はお住まいの市町村の指示に従って廃棄してください。

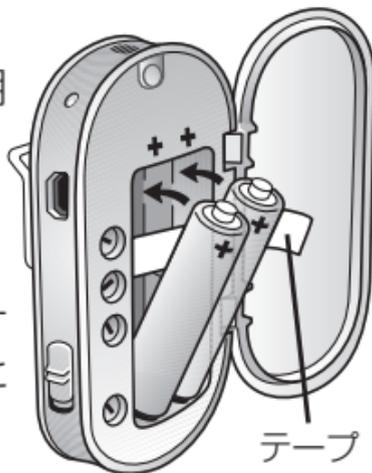
## 4 電池の交換方法

### ■電池の外し方

電池ケースをそっと開いてください。透明のテープを引っ張って電池を外します。

### ■電池の入れ方

電池ケースの“+”と電池の“+”の向きが一致するように電池を入れ、フタをしっかりと閉めてください。



### ⚠ 注意

- (1) 電池を逆向きに入れないでください。故障の原因になります。
- (2) ケースが閉まりにくいときは、無理に閉めようとせず、電池の向きと種類を確認してください。無理に閉めると、補聴器を損傷する可能性があります。

### ■電池寿命お知らせ機能

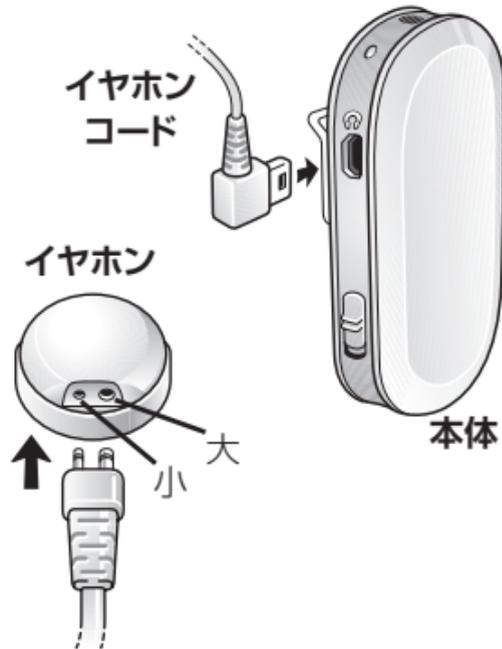
電池残量が少なくなってくると、交換を知らせる電子音(ピッ、ピッ、ピッ)が電池が無くなるまで5分～10分おきに繰り返し鳴ります。その後、補聴器の電源が自動的に切れます。電池交換を知らせる電子音が鳴りましたら、必ず新しい電池と交換してください。

## 5 基本的な使い方

### 5-1.イヤホンコードと耳せんの接続

ご使用になられる前に本体、イヤホンコード、イヤホン、ジョイント、耳せんをしっかり接続してください。イヤホンと本体が接続されていないと動作しません。

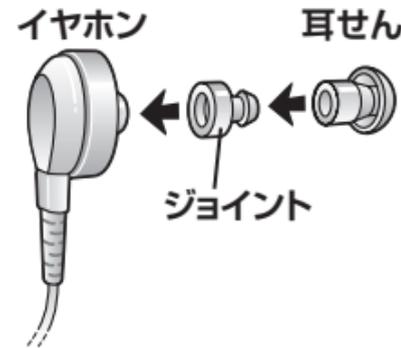
(1)イヤホンコードのケーブルが上を向くようにして、本体と接続します。



(2)イヤホンにイヤホンコードを接続します。

※差込み口の大小に注意しながら、ゆっくりと挿入してください。

(3)右図のようにジョイントと耳せんを取り付けます。耳せんは装用される方の耳にしっかり合ったサイズのものをお使いください。耳せんがゆるいとハウリング(ピーピー音)の原因となります。



●耳せんを接続する場合

※イヤホンプラグを直接触らないようにご注意ください。

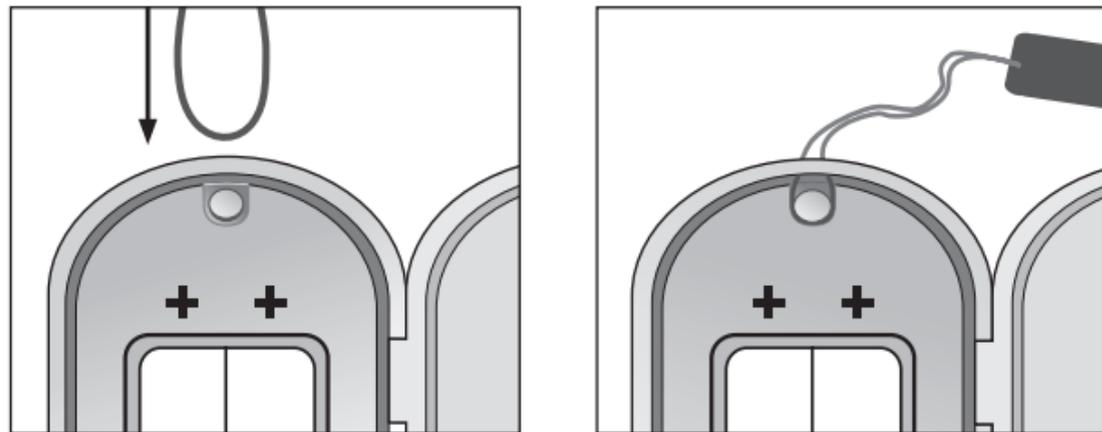
※装用者以外の方が操作される場合は、イヤホンプラグ、コネクタ部分、装用者に同時に接触しないようにご注意ください。



●イヤモールドを接続する場合

※CP2BW-Vにイヤモールドを接続される場合は、イヤホンカバーを外してください。

## 5-2.ストラップのつけ方

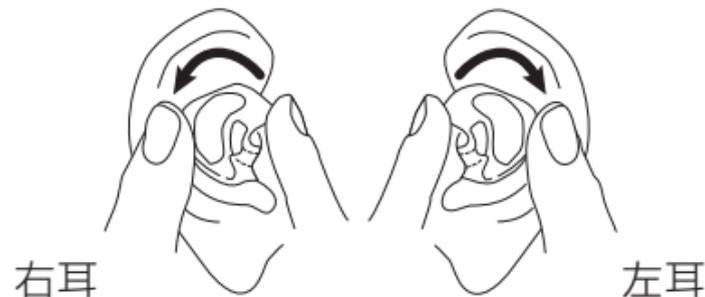


電池ケースのふたを開け、ストラップを本体上部の溝にひっかけるようにしてご使用ください。

## 5-3.補聴器の装着

### ■補聴器のつけ方(イヤモールドご使用の場合)

- (1)イヤホンとイヤモールドを接続し、必要な場合は電源を入れてください。補聴器から「ピーピー」というハウリング音が発生することがありますが、イヤモールドが完全に耳に装着されると止まります。(装用後に電源を入れても構いません)
- (2)下図のようにイヤモールドを親指と人差し指で軽く持ち、矢印の方向(前から後ろ)へ回しながらゆっくりと耳の中へ押し込んでいきます。(もう片方の手で耳を反対側へ引っ張ると挿入しやすくなります。)



### ■補聴器の外し方(イヤモードご使用の場合)

イヤモードをつける時とは反対の方向に回しながら引き出し、イヤホンをつまんで静かに耳から外してください。

万が一うまく外せない場合はお買い求めの販売店へお問い合わせください。

※補聴器を取り出すときに、ハウリング(ピーピー音)がすることがありますが、補聴器と外耳道との間に隙間ができていたため、故障ではありません。

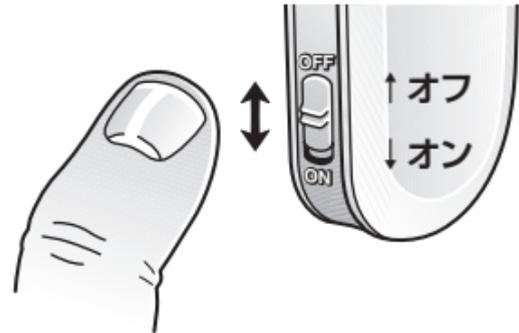
### ■左右の見分け方(CP3BW-PVIの場合)

イヤホンには、左右が分かるように左には青、右には赤のシールが貼られています。補聴器は右耳用と左耳用それぞれに調整されていますので、装着時には左右を間違えないようご注意ください。

※左右を区別するシールはお買い求めの販売店で貼ってもらうてください。

### 5-4.電源の入/切

本体左側面についている電源スイッチを使って、補聴器の電源を入/切することができます。電源スイッチを下げると電源が入り、上げると電源が切れます。補聴器の電源を入れた時、プログラムは1の設定になります。プログラムに関する詳細は21ページをご参照ください。



※補聴器を装着していない時は電池の消費を減らすために電源は切っておいてください。

## 6 装用者が取り扱う調整器類

### 6-1.ボリューム調整

音量を1(最小)から10(最大)の間で調整します。つまみを回して最も快適なレベルでお使いください。つまみの数字が大きくなるほど音量も大きくなります。



### 6-2.プログラム選択ボタン

プログラム選択ボタンは、プログラムを切替えるときに使用します。使用環境に合わせて、プログラムを選択してください。プログラムを切替える度に「ピッ」という『お知らせ音』が鳴り、『お知らせ音』の回数によってどのプログラムが選択されたか分かります。

CP2BW-V、CP2BW-PVには3つのプログラムが、CP3BW-PVIIには外部入力用(オプション)を含め、4つのプログラムがあります。

### ●CP2BW-V、CP2BW-PVの場合

	音	プログラム
プログラム1	ピッ	マイク入力
プログラム2	ピッ、ピッ	マイク・テレコイル入力
プログラム3	ピッ、ピッ、ピッ	テレコイル入力

### ●CP3BW-PVIの場合

	音	プログラム
プログラム1	ピッ	マイク入力(静かな環境)
プログラム2	ピッ、ピッ	マイク入力(騒がしい環境)
プログラム3	ピッ、ピッ、ピッ	マイク・テレコイル入力
プログラム4	ピッ、ピッ、ピッ、ピッ	外部入力

※電源投入時はプログラム1が自動選択されます。

※テレコイルの詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

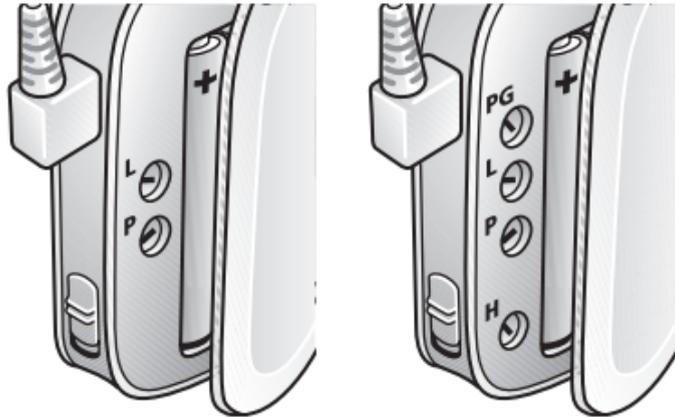
## 7 プリセット調整器類(トリマーについて)

一般にはトリマーと呼ばれるこれらの調整器類は、電池ケースのふたを開けたところにあります。

### ⚠注意

各種トリマーの調整には専門的な知識と経験が必要ですので、お買い求めの販売店で調整してもらってください。絶対にご自分で調整しないでください。

■電池ケースのふたを開けると右図のようなトリマーがあります。



●CP2BW-V/PVの場合

●CP3BW-PVIの場合

### L-低音域抑制(高音域強調)トリマー

音質を調整するトリマーです。右に回しきった位置では、高音域が最も強調される歯切れのいい音質になります。このトリマーは、周波数により聴力レベルが違う場合にそれを補正する目的で用います。

### P-最大出力音圧制限トリマー

補聴器から出力される一番大きな音を設定するトリマーです。左に回しきった位置は補聴器の持つ最大出力音圧まで出力し、右に回すほど最大出力音圧を抑制します。このトリマーは強大音が不快と感じる場合などに調整します。

### PG-出力・利得調整トリマー(CP3BW-PVIのみ)

PGマークの付いたイヤホンの最大出力と音響利得を調整するトリマーです。2つのイヤホンを用いて両耳装用を行う場合に、良聴耳にPGマーク付きイヤホンを装用してPGトリマーで左右のバランスが最適になるように調整します。

※PGマークはイヤホンコードのイヤホン接続部にあります。

## H-高音域抑制(低音域強調)トリマー( CP3BW-PVIのみ)

音質を調整するトリマーです。右に回しきった位置では、低音域が最も調整され柔らかい音質になります。このトリマーは、周波数により聴力レベルが違う場合にそれを補正する目的で用います。

## 8 イヤモールド(オプション)について

イヤモールド(オーダー耳せん)は、耳の型に合わせて製作するオーダーメイドの耳せんです。ハウリング(ピーピー音)や補聴器の脱落を防止し、より快適な音をきいていただくために、イヤモールドをお作りいただくことをおすすめします。

なお、イヤモールドはオプション(別売り)です。詳細はお買い求めの販売店にお問い合わせください。



### ⚠ 注意

- (1)イヤモールドの装用感に不快や、支障がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- (2)絶対にご自分でイヤモールドの形を変えないでください。

## 9 その他の機能

---

### 9-1. テレコイルについて

テレコイルからの誘導信号を受け入れます。教室、公共施設、家庭内などのループシステムのある場所で、他の音に阻害されることなく必要な音を聴取することが出来ます。また、誘導信号を出力するコイルを内蔵した受話器であれば、電話でもご利用になれます。

この機能は、プログラム3 (CP2BW-V/PVの場合はプログラム2も可) に設定されています。

### 9-2. ループシステムを使う場合

ループシステムをご使用になるときは、プログラムをテレコイルに設定してください。設定しても何も聞こえない場合は、ループシステムが働いていないこととなります。

ご利用の教室、公共施設、家庭内などにループシステムが設置されていない場合には、プログラム1か2 (CP3BW-PVIの場合はプログラム3も可) を選択してできるだけ話者に近い位置に座ってください。

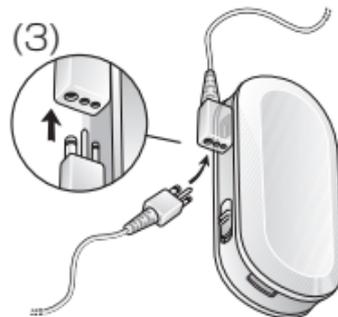
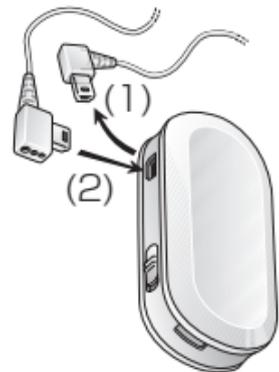
### 9-3.外部入力について(CP3BW-PVI用オプション)

外部入力により、テレビ、ラジオなどからの音をより良い音質で直接聞くことが可能です。

(1)イヤホンコードを外します。

(2)外部入力用イヤホンコードを差し込みます。

(3)右図のようにオーディオコードを接続してください。  
プログラム選択ボタンを押してプログラム4に切替えてください。



※外部入力用イヤホンコード、オーディオコードはオプション(別売)です。ご購入される場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

※外部入力用のプログラムにすると周囲の環境音は聞こえなくなります。

※外部入力に接続する外部機器は、JIS規格か電気用品安全法、又は同等の安全性を備えるものをご使用ください。

(例)電気用品安全法(PS)マークが表示されたものなど

## 9-4.電話で補聴器を使う場合

### ■誘導コイル内蔵の電話を使用する場合

プログラムをテレコイルに設定すると、電話から聞こえてくる音だけを拾います。受話器を逆さまにし、耳に当てる部分を補聴器のマイクロホンに密着させます。相手の声が最もよく聞きとれる位置でお話ください。もし、電話中にハウリング（ピーピー音）が起こった場合は、受話器を補聴器から遠ざけてください。



### ⚠ 注意

携帯電話を使用される場合には、雑音の発生や会話に障害を及ぼす可能性があります。

## 10 日頃のお手入れ

補聴器はいつも清潔にしておいてください。ご使用後は、柔らかい布かティッシュペーパーなどで油分や湿気を拭き取ってください。

### ⊘ 禁止

- (1) 補聴器を水や他の液体に浸すことは、故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
- (2) シンナー、ベンジン、ベンゾールまたは濡れた布で拭くことは避けてください。

## ■耳せん(またはイヤモールド)の掃除

ジョイントから耳せんを外し、やわらかい布を使って、汚れや耳あかを取り除いてください。取り除けない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

## ■耳あかについて

ほんの少しの耳あかでも、補聴器の機能に影響をあたえます。補聴器を装用されている方は、時々耳鼻科を受診し、耳の中をきれいにしてもらってください。また、定期的に耳の検診を受けることをおすすめします。

## ■補聴器の保管について

補聴器はいつも乾燥した状態にしておいてください。保管するときは、電池を抜いてください。

## ⚠注意

- (1)補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを使わないでください。また、直射日光に長時間さらさないでください。外部変形及び外部変色、内部損傷や焼失の原因となります。
- (2)乱暴な扱いは補聴器の故障の原因となります。床など固い面に落とさないでください。

## 11 故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
音がきこえない/ 音の大きさが不十分	電源が入っていない。	電源スイッチをオンにする。
	電池が消耗している。	電池を新しい物に交換する。
	耳せんが詰まっている。	耳せんを掃除して詰まりをとる。
	装用者の耳に過度の耳垢が詰まっている。	医師に相談する。
	設定音量が小さい。	可能であれば音量を上げる、または販売店に相談する。

症状	原因	対策
ハウリング (ピーピー音) がする	耳せんが正しく耳に入っていない。	注意して入れ直す。
	補聴器の設定が合っていない。	販売店に相談する。
	耳せんの大きさが外耳道に対して合っていない。	販売店に相談する。
	装用者の耳に過度の耳あかが詰まっている。	医師に相談する。
音が不明瞭、音が歪む	電池が切れかかっている。	電池を新しい物に交換する。

※対策をしても解決しない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

## 12 アフターサービスについて

### ■保証書(別添付)

お買い上げ日、販売店名などの記入を必ずお確かめになり、大切に保管してください。

### ■修理について

#### ・保証期間中

**保証書を添えてお買い求めの販売店へお持ちください。**

保証書の規定に従って、修理いたします。保証書の提示がない場合は有料となります。

#### ・保証期間後

**お買い求めの販売店もしくは弊社にご相談ください。**

修理により使用可能な場合は、ご希望により有料で修理いたします。

### ■お問い合わせ先

修理・お取扱い・お手入れ・付属品などのご不明な点は、お買い求めの販売店もしくは弊社のカスタマーサービス(0120-921-310)までお問い合わせください。

### ■仕様について

改良のため仕様は予告なく変更される場合があります。

# 13 性能表

※数値は参考値です。

性能表 IEC60118-0 イヤシミュレータ		CP2BW-V	CP2BW-PV	CP3BW-PVI
規準周波数		1600Hz	1600Hz	1600Hz
規準利得 (入力音圧60dB SPL)	1600Hz	56dB	65dB	73dB
最大音響利得 (入力音圧50dB SPL)	ピーク	71dB	86dB	90dB
	1600Hz	71dB	84dB	86dB
90dB最大出力 音圧レベル	ピーク	133dB SPL	143dB SPL	150dB SPL
	1600Hz	132dB SPL	141dB SPL	148dB SPL
全高調波歪	800Hz	3.9%	3.1%	2.5%
	1600Hz	0.6%	0.5%	0.6%
コイル感度(1mA/m入力)	ピーク	101dB SPL	116dB SPL	120dB SPL
最大感度となる方向		垂直	垂直	垂直
等価入力雑音レベル		22dB SPL	23dB SPL	24dB SPL
周波数範囲(DIN 45605)		160-3950Hz	150-3790Hz	120-3500Hz
電池電流	片耳	0.6mA	0.8mA	6.8mA
	両耳	—	—	7.7mA
電池寿命(単4×2)	片耳	1165時間	875時間	220時間*
	両耳	—	—	195時間*

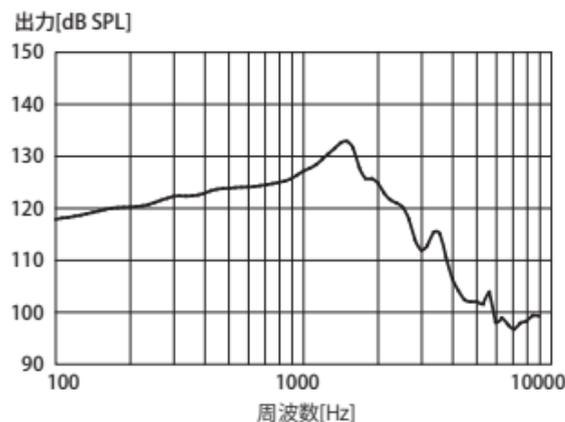
\*アルカリ電池

# 14 音響諸特性

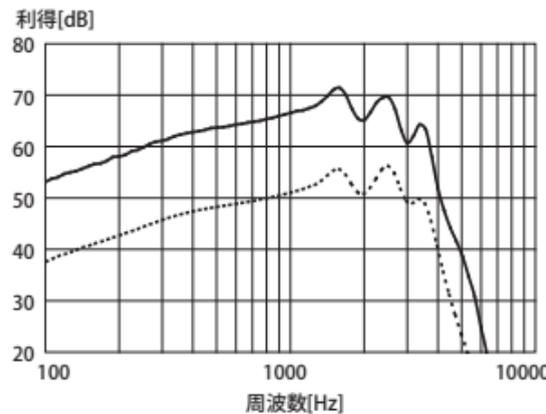
イヤシミュレータ 測定規格:IEC60118-0

## ●CP2BW-V

90dB最大出力音圧レベルの  
周波数レスポンス

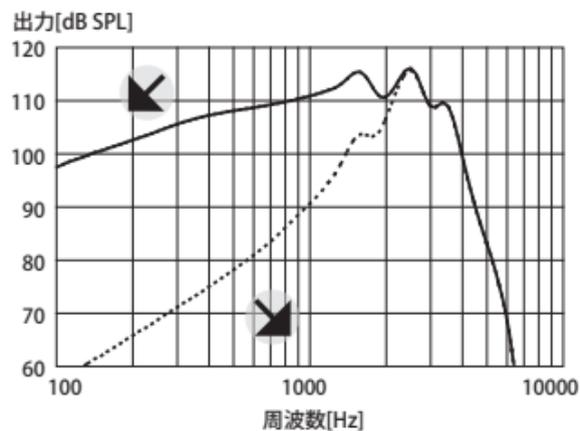


最大音響利得及び  
規準周波数レスポンス

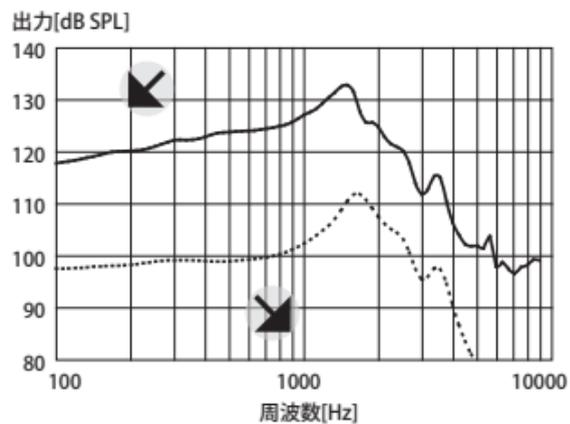


— 最大音響利得(入力音圧50dB SPL)  
--- 規準周波数レスポンス(入力音圧60dB SPL)

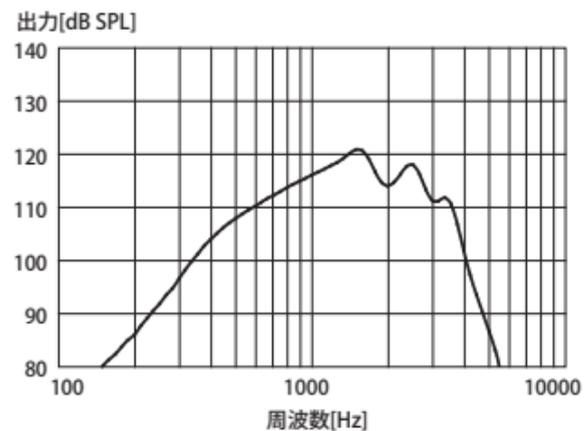
標準周波数レスポンス  
(L-低音域抑制トリマーの効果)



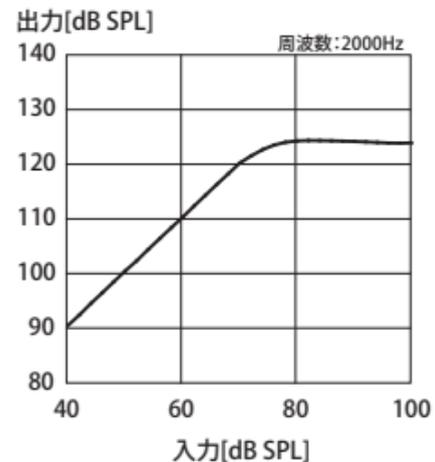
最大出力音圧レベルの  
周波数レスポンス(P-トリマーの効果)



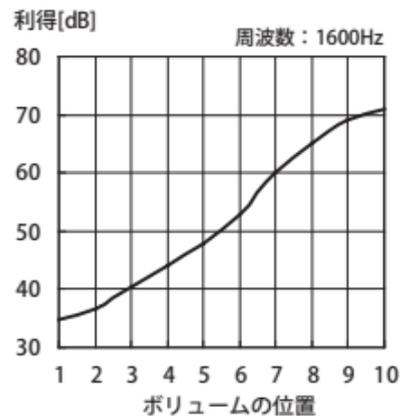
誘導コイル入力の  
周波数レスポンス



入力/出力レスポンス

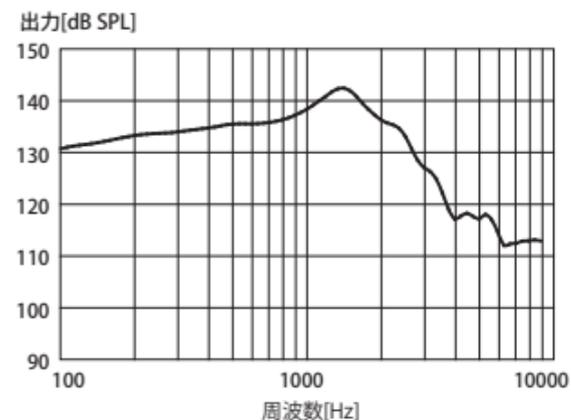


### 利得調整器の変化特性

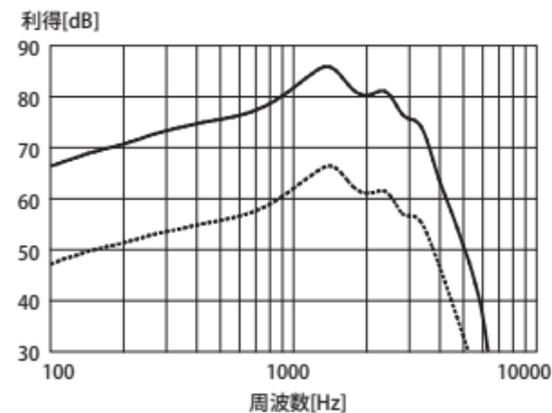


## ●CP2BW-PV

### 90dB最大出力音圧レベルの 周波数レスポンス

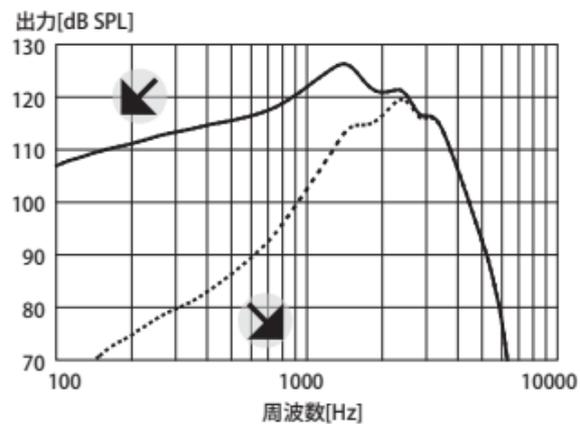


### 最大音響利得及び 標準周波数レスポンス

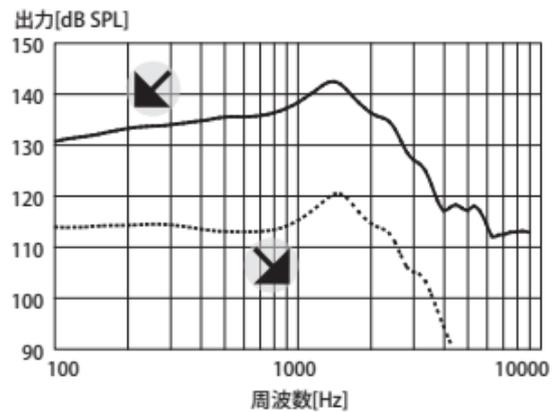


— 最大音響利得(入力音圧50dB SPL)  
--- 標準周波数レスポンス(入力音圧60dB SPL)

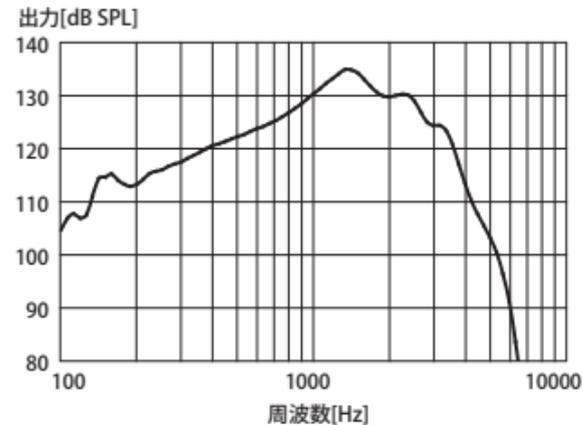
標準周波数レスポンス  
(L-低音域抑制トリマーの効果)



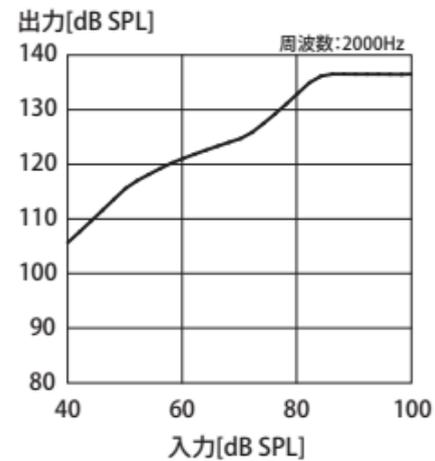
最大出力音圧レベルの  
周波数レスポンス(P-トリマーの効果)



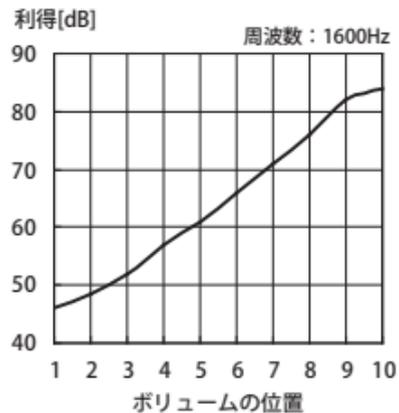
誘導コイル入力  
周波数レスポンス



入力/出力レスポンス

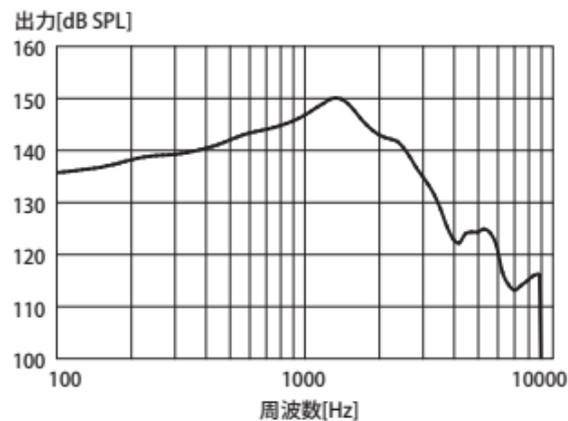


### 利得調整器の変化特性

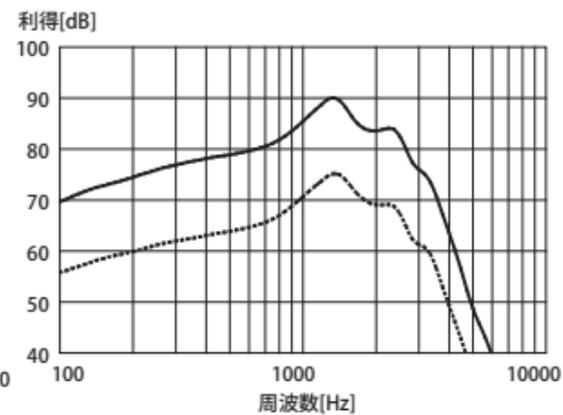


## ●CP3BW-PVI

### 90dB最大出力音圧レベルの 周波数レスポンス

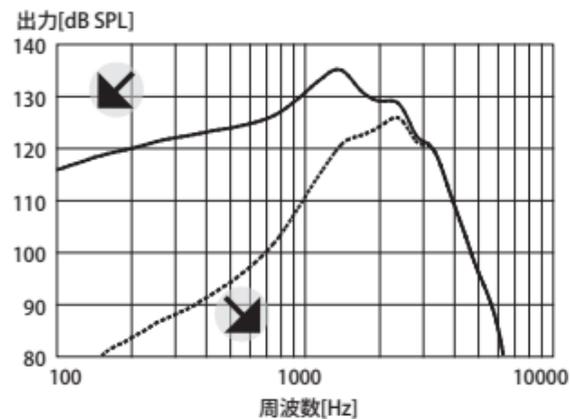


### 最大音響利得及び 規準周波数レスポンス

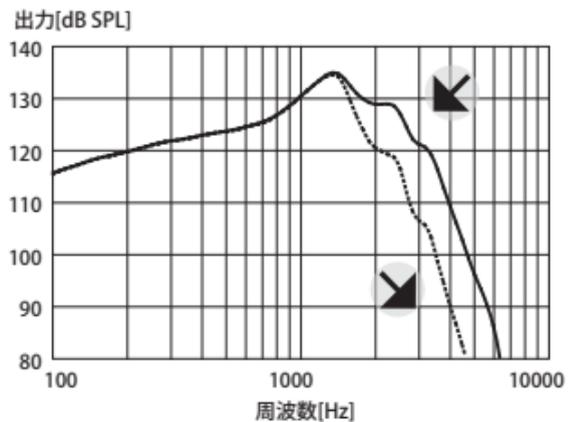


— 最大音響利得(入力音圧50dB SPL)  
 --- 規準周波数レスポンス(入力音圧60dB SPL)

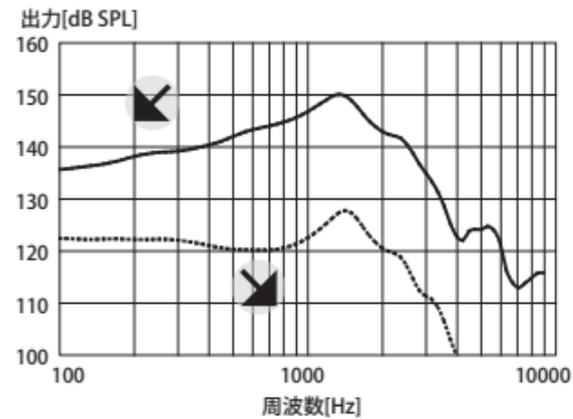
標準周波数レスポンス  
(L-低音域抑制トリマーの効果)



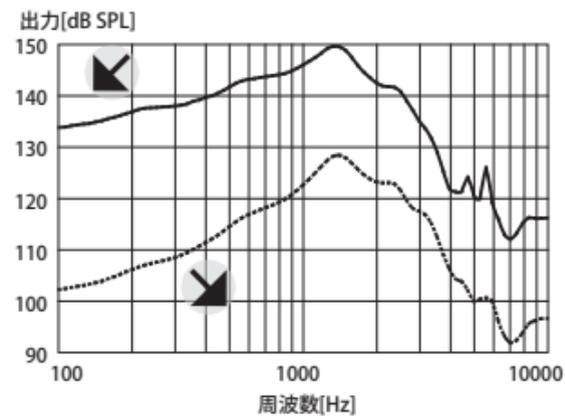
標準周波数レスポンス  
(H-高音域抑制トリマーの効果)



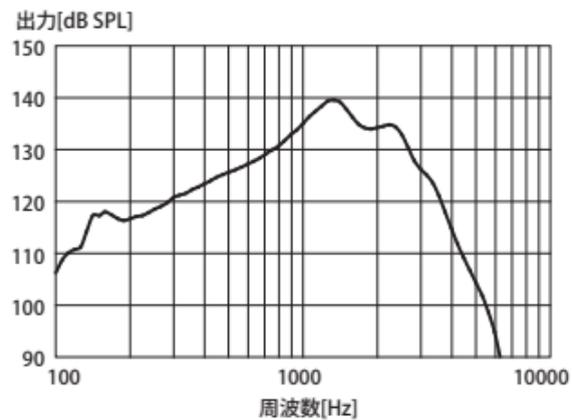
最大出力音圧レベルの  
周波数レスポンス(P-トリマーの効果)



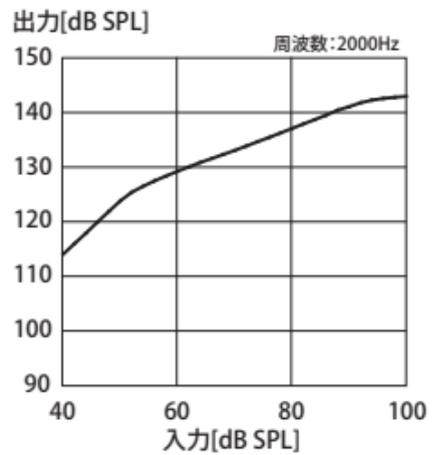
PG-出力・利得  
調整トリマーの効果



誘導コイル入力の  
周波数レスポンス



入力／出力レスポンス



利得調整器の変化特性

